

Trio for Violin, Violoncello, and Piano

作曲スケッチのメモにニューヘブレン 1904 年 6 月とあることなどから、この作品はイエール大学の 1898 年卒業生の 6 回目の同窓会の間に作曲が開始されたいとのこと。この作品はアイブスの大学時代の思い出を綴じこんだものだといわれています。

作品自体は 1911 年には完成しましたが、初演は 30 年以上後の 1948 年にオハイオ州の Baldwin-Wallace Collage の大学内の三重奏団 (Baldwin-Wallace Faculty Trio; 現在は Elysian Trio) によって行われました。

第 1 楽章 モデラート

ピアノとチェロの哲学的な対話から開始されます。その後ピアノとヴァイオリンが別の対話を開始し、そしてピアノとヴァイオリンとチェロがそれぞれ最初に語ったことを繰り返します。アイブスは「第 1 楽章は短い作品だが、イエール大学の哲学の老教授による真面目な話を思い出すものだ。」と言っています (初演のためのノート)。

第 2 楽章 TSIAJ プレスト (スケルツォ)

これは休日の午後の学生の悪ふざけです。登場する歌や旋律はその当時を思い出すもので、あのかきは誰もが知っていた、という曲ばかりだそうです。TSIAJ は "This Scherzo is a Joke" を略したものです。引用も多く、マイ・オールド・ケンタッキー・ホームや当時ボードヴィルソングとして流行した "Ta-ra-ra Boom-de-ay" などなどが使用されています。

第 3 楽章 モデラート・コン・モート

アイブスによると大学のキャンパスで行われた日曜礼拝を思い出させるものだ、そうです。最後のコーダの部分にはアメリカの作曲家トーマス・ハスティングス (Thomas Hastings; 1785-1872) による "Rock of Ages" のメロディーを使ったことが楽譜に記載されています。

曲は決然としたメッセージから始まり、途中クワジ・アレグロの部分などを挟みながらも後半は穏やかな流れで最後はアダジオ・カンタービレの静かなまどろみの中に "Rock of Ages" のメロディーが浮かびその中に沈んでいきます。

演奏時間 25 分

